

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	BS法を使い、職員みんなで作り上げた理念「自由な暮らし」「人との絆」「願いや想い」を大切にし、「その人らしさ」の実現に取り組んでいる。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念は、見やすいところに掲示し、毎朝、申し送りの前に理念を復唱し、意識付けを行っている。又、ケアの検討時や会議の中でも、理念に沿ったケアが出来ているか、話し合っている。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	見やすいところに掲示すると共に、利用案内のパンフレットにも記載し、家族や地域の人にも理解していただくよう取り組んでいる。又、同法人内や協力病院にも配置したり、家族会、運営推進会議の折りにも理念の浸透を心がけている。	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	日々の挨拶も笑顔が心がけ、時には立ち寄ってお茶を飲んでいただくこともある。又、おはぎ作りや行事時の料理など、近隣のボランティアの方に来ていただいたり、地域の方から漬物や野菜類の差し入れもいただいている。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	ホームの設立段階から地域の人たちへの説明、協力依頼を通し、関係を深める働きかけを行い、良好な関係を継続している。入居者も地域の会合に参加されたり、クリーンアップ運動、子供見守り隊に参加され、学校や幼稚園の運動会や地域のゲートボール大会などに招待していただき、交流に努めている。	

福岡県 グループホーム なかまちの家

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>入居者のケアに配慮しつつ、ホームの見学や市職員の福祉実習など積極的に受け入れている。又、緊急時(台風や地震、雷など)一人暮らしの高齢者の一時避難場所として提供したり、地域徘徊者の家族の迎えまで一時預かりも受けるようにしている。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価により職員一人一人の自己点検と意識改革に役立てていると共に、ホーム全体の現状をチェックし、ホームに求められている役割や機能も再確認するようにしている。又、ホーム機能を見据え、ホームが抱える課題改善に取り組む機会としている。</p>	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、自己評価、外部評価共に報告を行い、そこでの意見をスタッフ会議でさらに検討し、サービス向上に活かしている。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>包括支援センターの職員との連携のほか、市職員の新人研修を受けたり、家族会の主催で市職員の出張講習会を開催するなど、市職員と家族との意見交換の機会を作り、市町村と共にサービス向上と質の向上に取り組んでいる。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>新人研修のオリエンテーションの中で研修を行うほか、法人内内部研修で、成年後見制度や権利擁護を学ぶ機会を作っている。必要と思える家族には説明を行い、現在2名の家族に活用していただいている。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>母体の病院が、抑制廃止宣言を最初に打ち出した病院であり、虐待や抑制については開設当初からしっかり職員教育を行い、防止に努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項や契約書において家族や本人からの疑問点等がある場合は、十分な説明を行い、理解・同意を得ている。又、2ヶ月に1回の家族会開催時、家族のみで協議していただき、不安や疑問点、要望などの抽出に努めている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談受付窓口を明示すると共に、入居者の会「仲良し会」の中で気軽に苦情や要望等も言えるように働きかけており、仲よし会の会議録はいつでも自由に閲覧できるようにしている。又、安心介護相談員の訪問時にも、利用者が苦情や要望等を表しやすいように環境にも配慮している。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時、毎日の個人記録を閲覧していただき、意見や希望などを記載していただいている。遠方の家族には電話や手紙での体調や近況の報告をしている。金銭出納帳やケアプランには確認後捺印していただいている。職員の異動も利用者や家族会に報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員を除いた家族会議の中で、忌憚ない意見や苦情、要望を出していただき、苦情や要望には職員で話し合い運営に反映させている。又、日常から家族と親密な関係作りに努め、いろいろな意見が遠慮なく聞けるようにしている。安心介護相談員等の公的窓口の説明も行っている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1度の職員会議や毎朝の申し送り時に意見や提案を聞き、全員で検討し共有している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務表作成前に希望等を尋ね、無理のない体制の中で調整し、必要な人員を確保をしている。急病や急用などでも必要に応じ勤務変更を行っている。又、行事や緊急で職員が必要になった場合は、ユニット同士で応援体制をとり、ゆとりが持てるようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職は最小限に抑えているが、ローテーションや研修生受け入れ等で職員の顔が増えることは多い。入居者によく説明し、納得していただくことで、先輩として逆に新人指導で力を発揮される場面も見られる。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用にあたっては年齢、性別を問わず、採用対象から排除しないようにしている。新規採用者には、1ヶ月をかけて各部署を経験してもらい、その職員の能力が發揮でき、長所を活かして生き生きと働ける部署に配置し、アドバイスや支援をしている。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>新人職員への集中的なオリエンテーションや法人内の接遇や人権に関する研修に全員参加し、日頃より意識化している。</p>		
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の内部研修、外部研修等への参加を促し、職員のスキルアップに努めると共に、資格取得の支援もしている。又、自己研鑽として外部からの研修生の指導にも当たらせ、職員の質の向上に努めている。</p>		
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市主宰の安心介護相談員との交流会に参加し、他ホームとの意見交換や、施設訪問などを行っている。又、県のグループホーム協議会にも会員登録しており、勉強会や交流会にも積極的に参加し、他事業所からの研修等も受け入れ、外部からの気づきを得てサービスの質の向上につなげている。</p>		
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>温泉1泊旅行に行ったり、日帰り旅行をして気晴らしの場を設け、ストレスが溜まらない様、心がけている。又、気になる職員には不定期に個別の面談を行い、精神面のフォローをしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>一人一人の個性・長所を把握し、研修生の指導等を通して能力を発揮できる場を作り、自信を持たせることで、職員の向上心アップを図っている。介護福祉士や介護支援専門員の資格取得の支援を行っている。</p>	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用前に生活の現状を知る為、訪問を行ったり、ホームに来ていただいて、不安な気持ちの軽減に努めている。入居当初は本人を取り巻く環境の変化から来るダメージを最小限にするために、馴染みの家具で部屋を整え、ゆっくり会話する時間を取っている。その中で、本人の希望や不安なこと等を傾聴し、安心して暮らせるよう支援している。</p>	
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居予定者が入居に関して納得できず、否定的な場合は、一緒にホーム見学を勧めたり、ご家族の状況などをよく聞くようにしている。ホーム見学や相談はいつでも受け入れている。</p>	
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族の希望や要望をよく聞き、医療、福祉両面から必要な支援は何かを見極めて、助言やアドバイスをしている。</p>	
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所事前には、ご家族や本人と環境の変化によるダメージを検討し、ホームの概要を知っていただくための訪問や、認知症対応型通所介護の申請を行い、デイを体験しながら、ホームの雰囲気を知っていただき、職員や他入居者との関係が築けるようにしている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活の中で、買い物や掃除、調理や畑作りなど、本人の力を発揮できる場面を多く作り、役割を持って活動していただいている。ホームで飼っている愛犬も含め、喜怒哀楽を共にし、支え、支えられる関係を築いている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えている関係を築いている</p>		
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に本人やご家族から情報を収集して作成した、ケアプラン大牟田方式のらしさシートから、生活習慣や大事にしていることなどを把握し、その人らしい暮らしになるように努めている。</p>	
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>本人の心身状態、残存機能や生活サイクルを把握し、状況に応じて有する力の維持に努めながら、一人一人のペースに合わせた支援を行っている。</p>	
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>大牟田方式ケアプランの生活史シートの中で、生活歴や生活する上で出来る事、出来なくなった事など、本人やご家族を通して、細かに情報収集を行っており、本人やご家族の希望を踏まえ、アセスメントに活用し、介護計画を作成している。</p>	
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画に実施期間(3ヶ月)を明示して、終了時に評価・見直しを行い、又、状態変化に応じた随時の見直しも行っている。見直し時には、主治医からの意見や 本人やご家族など必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のファイルに日々の暮らしの様子やバイタルチェック、体調変化や小さな気づきなど具体的に記載している。又、職員で情報を共有し、カンファレンスで実践に向けての話し合いや介護計画の見直しに活用している。</p>	
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>遠方の家族の面会時には、宿泊の受け入れをしたり、本人の希望で自宅で過ごされる時間を付き添ったり、本人やご家族のその時々々の要望に応じて、柔軟な支援を行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>無断外出のある利用者にはご家族の了解を得て、写真や特徴を記載したものを駐在所や消防署に配布し、お願いしており、支援、協力体制をとっている。又、行事時のボランティアや民生委員とも協力しながら支援している。</p>	
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>必要に応じて訪問看護などの利用も行っており、ケアマネジャーも様子を見に立ち寄り情報を共有している。又、「頭の体操」や「回想法」「学習療法」など、OTによるサービスなども行っている。</p>	
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターの職員も運営推進会議の構成員であり、運営推進会議の中で、長期的なケアマネジメントや権利擁護などの情報交換を行っている。</p>	
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者のこれまでのかかりつけ医を大切にし、継続していただくようにしている。ご本人やご家族の希望でかかりつけ医を変更される場合は、意志を尊重し新たな医療機関と良好な関係作りに努めている。又、往診についても、入居者、ご家族が納得された医療機関の往診体制となっている。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の状態変化に応じて、相談できる医師を確保しており、受診時には日々の状態報告をし、内服薬の調整もしてもらっている。疑問や状態の変化時にはいつでも相談できる体制ができている。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職員は、入居者全員の健康状態を把握し、入居者の状態に合わせて主治医との連携を図っている。緊急時には、在宅支援診療所からの往診を受けることもあり、往診医やご家族との連携も行い、医療活用の支援を行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>昼風呂が好きな人や寝る前に入る人など、好きな時間に入浴できるような体制をとっており、その時の希望を聞きながら行っている。時には仲良しの入居者同士ゆっくりと入浴を楽しまれることもある。</p>	
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>自らの生活リズムが確立されてある方には、サイクルをみださないよう心がけ、体調をうまく表現できない方には、日中の活動の様子や表情で、その方の疲労度等を把握し、無理のない生活を送り、適度に休息していただくよう声掛けを行っている。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>散歩や買い物、山登り等本人に合った楽しみや、刺し子、料理、片付け、季節には外の釜で湯がいたり、畑で野菜を作ったり、一人一人の力の発揮が出来、生活歴に添った支援を行っている。又、地域住民と共に通学時の安全を見守る「子供見守り隊」のメンバーとして活動している。</p>	
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員全体がお金を持つことの大切さを理解しており、ストアや移動売店でも、物の値段を知り、ご自分の財布からお金を支払う金銭感覚と社会性の維持を図っている。</p>	
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物だけでなく、山登りや自宅までの外出、犬の散歩や畑に行き野菜の収穫など、一人一人のその日の気分や体調によって戸外に出かけられる支援をしたり、定期的な十日市や朝市などへの外出も希望に添って付き添っている。</p>	
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>なかよし会の中で、行きたい所や会いたい人などを聞いている。女学校時代の旧友との食事会にご家族と一緒に月1回出掛けられたり、若いころの趣味である登山などの希望には、山登りの付き添いなどを行っている。ご家族と一緒に温泉に外泊される方もおられる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	<p>〇電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> <p>全盲の方の手紙の代筆や、遠方のご家族への手紙や電話など家族や知人との絆を大切にしている。又、自筆の年賀状と暑中お見舞いを家族や大切な人へ送付している。</p>		
66	<p>〇家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>いつでも笑顔で出迎え、ゆったりと居心地よく過ごしていただけるような雰囲気作りをしている。部屋でお茶を飲みながらゆっくり会話を楽しんでいただいたり、食事を一緒に食べていただくこともある。遠方の家族には宿泊も受け入れ、水入らずで枕を並べて休んでいただけるようにしている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
67	<p>〇身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> <p>協力病院が「抑制廃止福岡宣言」の病院であり、職員は身体拘束によって受ける身体的、精神的弊害について理解し、拘束のないケアを実践している。入居者のリスクに対して、見守りや付き添うなどの対応をしている。</p>		
68	<p>〇鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>日中は玄関の施錠はしておらず自由に出入りができるが、チャイムがなるようにしており、入居者が出掛けられそうな雰囲気を察知したら、さりげなく声掛けしたり、安全面に配慮しながら一緒に付き添うようにしている。</p>		
69	<p>〇利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>対面式の台所とフロアを中心に入居者の居室があり、台所に立ちながら、9名の入居者の行動を視野の中に入れることができ、安全面にも配慮できる。</p>		
70	<p>〇注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>顔そり用のかみそりや仏壇のろうそくに灯りをともすライターなど、入居者の状態に応じてお預かりしている。面会家族が忘れられたライターなどは預かるようにしている。又、使用後の洗剤類や包丁等は利用者の目に付かない場所に保管している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、食事に繊維の多い野菜やヨーグルトなどの乳製品を多く提供し、毎食汁物を付けるようにしている。又、水分の摂取量にも留意し、外庭の散歩や軽い運動なども行っている。</p>		
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		

福岡県 グループホーム なかまちの家

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

福岡県 グループホーム なかまちの家

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居時に、今まで使ってこられた馴染みの家具や生活用品、思い出の詰まった写真などを持ち込んでいただき、在宅生活に近い環境作りに努めると共に、今までの生活の延長を大切にしている。玄関に至るスロープには季節の花を植え、誰でも気軽に出入りしやすいような雰囲気作りに努めている。外庭には胡瓜やトマトなどの野菜を植え、野菜の成長や収穫と一緒に楽しみ、食事の際は自分たちで収穫した野菜を食べることで話題も増えている。又、季節になるとカマドと釜を設置し、薪を燃やして筍や蒨を湯がいたり、芋を蒸かしたりして、昔を懐かしんでいる。理念である「願いや想い」を実現する取り組みとして、入居者の発案で始まった「なかよし会」で、個々の希望や要望などを聞くと共に、個別でゆっくり関わりながら、その人の想いを見出し実現に向けて支援している。この「なかよし会」の中で飼うことが決まった愛犬（ラッキー）は、話しかけたり、散歩したり入居者の精神的な癒しとなっており、和む存在となっている。普段の生活の中でも、「その人らしさ」を大切に、個々の役割の中で残存機能を維持するため、入居者の力を発揮できる場面を多く作り、本人の自信に繋げている。週1回OTによる「回想法」では、古い家具に囲まれた空間で、昔を懐かしむ時間を共有しており、週3回「頭の体操」では詩を朗読したり、軽い体操など入居者のいい気分転換と刺激になっている。地域活動として月1回のクリーンアップ運動に参加したり、月に2回、小学生の登下校時に、「子供見守り隊」として、地域の方と共に子供達の安全な登下校を見守っている。又、「家族との絆」を大切にし、ご家族の希望があれば宿泊も受け入れており、ゆっくり水入らずの時間を過ごしていただいたり、一緒に外出や外泊も奨励している。職員は法人内研修や外部研修にも積極的に参加し、スキルアップに努めている。又、入居者の「その人の今」を把握し、些細な気付きも報告し合い、情報共有しながら統一したケアが提供できるよう取り組んでいる。ホームを社会資源の一つとして、他施設や市職員の研修受け入れや、職員を2年間の認知症コーディネーターの研修にも参加させ資質向上にも取り組んでいる。